

千葉県産業

創造に挑む



東京オリンピック・パラリンピック追い風に

日本銀行の景気判断で「緩やかな回復基調」から「緩やかな回復」に変更された日本経済。千葉県内の自治体運営・企業経営を取り巻く経済環境も改善傾向にある。庁内では過去最大規模の当初予算1兆7095億円を計上した「チーム森田」による2015年度の県政運営が始まった。2020年の東京オリンピック・パラリンピックの活用や観光産業の側面支援、起業支援など独自の新規施策で経済を活性化させ、「くらし満足度日本一」を目指す千葉県の足がかりとする。

起業・成長産業を育成

「東京オリンピック・パラリンピック開催は千葉県にとっても大きな飛躍になる」。森田健作千葉県知事の思い入れは強い。そのため、「オリンピック・パラリンピックを契機とした活性化」が今年度の施策の大きな柱となっている。訪日外国人の受け入れ態勢の強化策として、観光施設や商店街のおもてなしの向

起業・成長産業を育成

国内の産業振興にも力を入れる。県は今年度から中小企業の起業・創業支援に乗り出した。女性起業家を育成するため、優秀な起業家を育成するビジネス

地域の魅力向上支援

成長産業の育成支援に力を入れる。県は今年度から中小企業の起業・創業支援に乗り出した。女性起業家を育成するため、優秀な起業家を育成するビジネス



2014年9月開催の「新規参入支援セミナー」に約50人が参加した

地域の魅力向上支援

成長産業の育成支援に力を入れる。県は今年度から中小企業の起業・創業支援に乗り出した。女性起業家を育成するため、優秀な起業家を育成するビジネス

トップセールス 今年度はマレーシアとタイ



2014年7月開催の企業と医師の交流イベント「C-squareEPO」に約230人が来場した

アジアでPR

高い経済成長率を維持するアジア地域での知事による「トップセールス」を継続的に行っていき、今年度は8月31日から9月6日にかけて、マレーシアとタイを訪問する。県内経済の活性化や青少年の相互交流が目的の合わせて県内農林水産物の輸出拡大に向け、現地の商業施設で「千葉県産物産展」を開催し、販路開拓や拡大を自ら支援する計画

マレーシアで県産品をトップセールスする森田健作知事 (14年1月、千葉県提供)

千葉県特集



遠くにある夢も。まだ見たことのない夢も。この手で引き寄せましょう。チカラを合わせて。



いっしょがチカラ

ちばぎん 未来を育む 宣言